

## 2) ひき網類

### (1) 地びき網類

#### 46 地びき網〈五島編〉

調査地 奈留町

#### 1) 漁具

##### (1) 漁具展開図

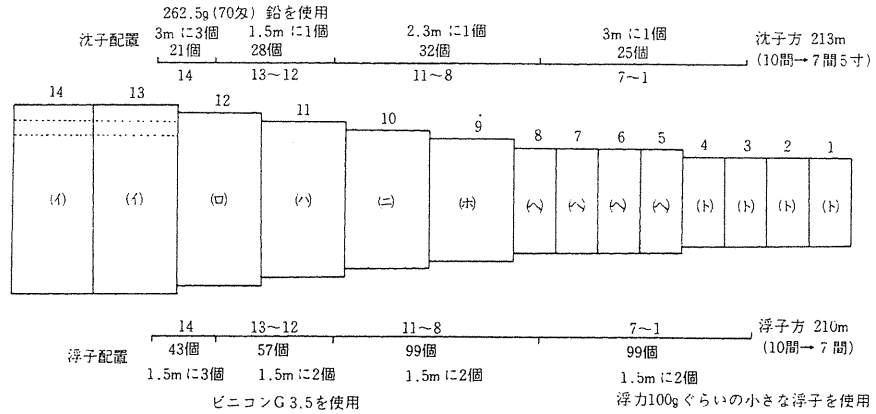


図46 漁具展開図

#### (2) 漁具仕様

表46 仕様表

##### (イ) 網類

符号	名称	材質	太さ	目合	掛目	長さ	仕上長	数量	備考
(イ)	身網 1	ナイロン	4～6本	25節	1,100目	30m	21m	4枚	反物を横に使用する。
(ロ)	〃 2	〃	〃	〃	1,000目	〃	〃	2枚	縮結0.3
(ハ)	〃 3	〃	〃	〃	900目	〃	〃	〃	
(ニ)	〃 4	〃	〃	〃	800目	〃	〃	〃	
(ホ)	〃 5	〃	〃	〃	700目	〃	〃	〃	
(ヘ)	〃 6	〃	〃	〃	600目	15m	10.5m	8枚	
(ト)	〃 7	〃	〃	〃	500目	〃	〃	〃	
(チ)	縁網	テトロン	45本	6節	20目	600m	420m	2枚	

##### (ロ) 網類

符号	名称	材質	太さ	長さ	本数	備考
(ウ)	浮子網	クレモナ	3.5分	420m	1本	
(エ)	浮子添網	〃	3分	〃	〃	
(オ)	クツワ網	〃	210本	900m	2本	網地を取付ける網をいう。浮子、沈子方ともダブルで使用。
(カ)	沈子網	〃	3.5分	426m	1本	縮結0.25。
(キ)	沈子添網	〃	3分	〃	〃	
(ク)	股網	〃	4分	15m	2本	同じ長さで2折りにする。
(コ)	ひき網	〃	5分	100m	〃	
(ク)	目通し糸	〃	90本			

##### (イ) その他

符号	名称	材質	規格・寸法	数量	備考
(レ)	浮子	合成樹脂	ビニコンG3.5	398個	浮力 1,900g
(ロ)	〃	〃	長さ15cm	198個	浮力 約100g
(ハ)	沈子	鉛	263g (70匁)	106個	

#### 2) 漁法

日没後、1隻の船で地びき網漁場を探索し、群が濃い時に操業する。操業は2隻の船に網を積み、漁場の沖合から船を漕ぎながら左右に大きく打ち廻し、陸上にひき網をとり人力でひき寄せする。左右のひき網間隔は初めは大きく、除々に小さくし、網がひき寄せられたら全員で左右の袖網を交互にひき、魚捕部を2隻の船ではさんで漁獲物を取込む。大漁の時は浮子方31.5m (21間) の袋網の脇、敷網を魚捕部の浮子方に取り付け、ここに沈子をつけて沈め、魚を魚捕部に追込む。漁獲物をその晩に処理出来ない時は数ヶ所にアンカーを打ち、翌朝とりあ

げる。通常は人手がたりないので袋網はつけない。操業は1晩に1回である。

3) 使用漁船および乗組員

使用漁船は3トン3隻(2隻は無動力, 1隻は船外機付)で, 乗組員は8~10人である。

4) 漁期・漁場

漁期は8~11月で, 漁場は沿岸の水深10m以浅である。

5) 漁獲物

漁獲物はウルメイワシ, マイワシ, キビナゴ(シラス, カエリを含む)である。

47 地びき網<西彼・大村湾編>

調査地 西海町瀬川

1) 漁具

(1) 網地展開図

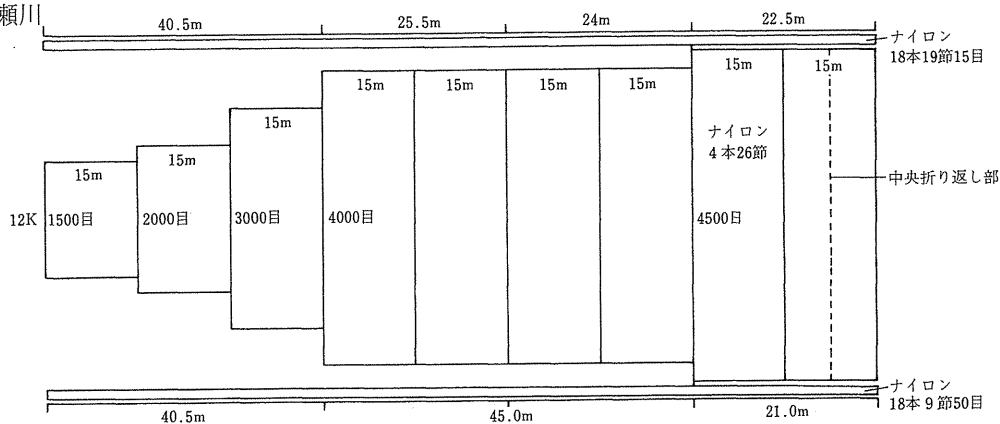


図47 網地展開図

(2) 漁具仕様

表47 仕様表

(イ) 網類

名称	材質	太さ	長さ	本数	備考
浮子網	クレモナ	9mm	195m	左2本	
浮子クツワ網	〃	8mm	214m	左2本	網地を取付ける網をいう。ダブルで使用する。
沈子網	〃	27mm	150m	1本	
沈子添網	ポリ	12mm	150m	1本	陶器沈子を通す。
沈子クツワ網	クレモナ	8mm	203m	左2本	ダブルで使用する。
目通し糸	〃	8mm			

(ロ) その他

名称	材質	規格・寸法	数量	備考
浮子	合成樹脂	平型14と同等品	455個	浮力 約1,500g
沈子	陶器	90匁	700個	

2) 漁法

日没後距岸100~120mの沖合, 水深20mの所に灯船を固定し, 陸電により75V500W 2個の笠付き集魚灯を点灯させる。これを無人のまま1晩点灯を続け集魚しておく。午前4時30分頃灯船を距岸50mまで引き寄せ, 魚群を誘導し, 網を積み込んだ口船で片側の網は陸岸に残し灯船を大きく囲むように打ち回す。この時潮流による網くずれを防ぐため手船により沖側から網の整形を保つ。網入れ後16人で両袖をひき寄せる。投網時間は5分, 揚網時間は40分程度である。1日1回操業を行う。

3) 使用漁船および乗組員

口船(網船) 無動力 2トン 4丁櫓 9~10人乗組  
 灯船 〃 1トン 点灯集魚中は無人, 操業中は1人乗り組む  
 手船 〃 1.5トン 網の整形を保つ 2人乗組

4) 漁期・漁場

漁期は周年で盛期は4~6月と10月末~1月である。漁場は瀬川周辺の水深10~20mのごく沿岸部で底質は砂

泥および砂である。

5) 漁獲物

カタクチイワシ(70%), マイワシ, 小アジが混ざる。カタクチイワシはカツオ船の活餌として地元で蓄養販売を行う。価格は昭和58年(1983年)当時, 1かご15kg入りで65,000円であった。良い時で1晩10かご程度漁獲する。

6) その他

- (1) 年間50~70日間操業する。
- (2) 灯船から釣糸をたらし, 魚の当る感覚で集魚状況を判断し操業を開始する。
- (3) 魚が多いと海面に泡が出たり, 魚が海面にはね上る。
- (4) 大潮, 小潮は漁模様が悪い。

(2) 船びき網類

(i) ひき寄せ網類

(a) 浮ひき寄せ網類

48 イカひき網〈宍岐・対馬編〉

調査地 上対馬町鰐浦

沿革 不明

1) 漁具

(1) 見取図

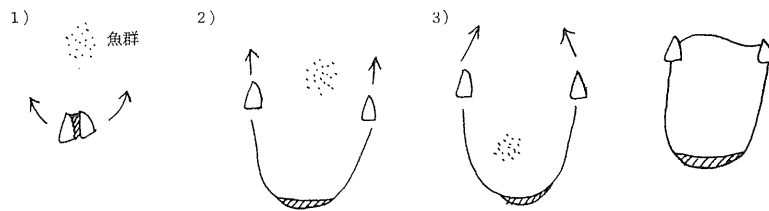
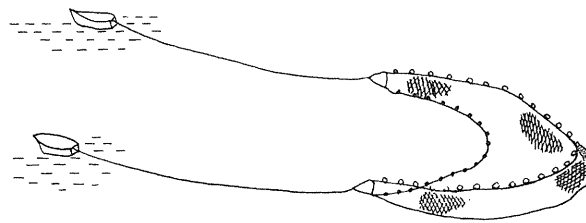


図48-1 操業見取図

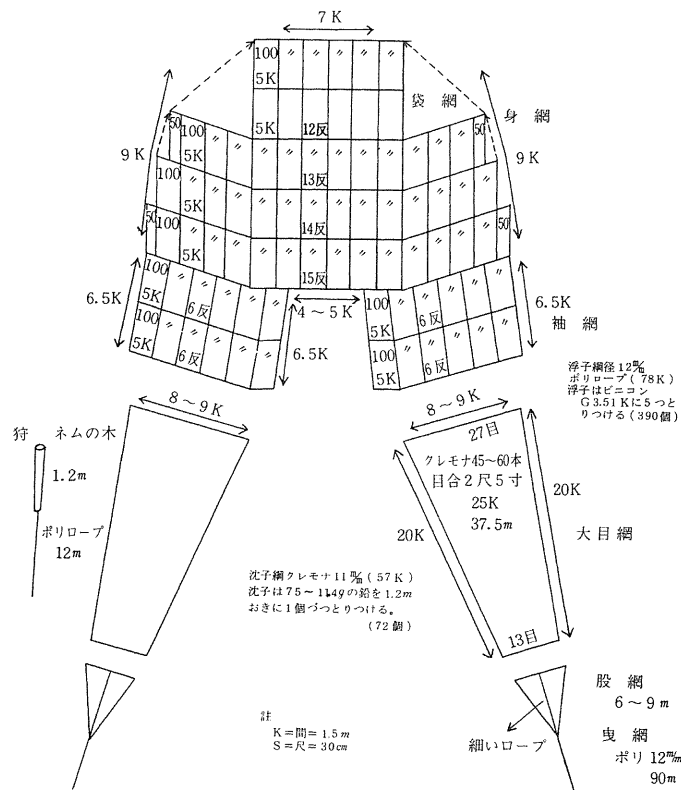


図48-2 展開図